

開講科目名	日本文化演習 IIA			
成績入力担当	朴 鍾祐	開講区分		単位数
		第1クォーター		0.0単位
ナンバリングコード	R1IG050	曜日・時限等	火3(対面)	時間割コード

#### 授業のテーマ

日本文化を歴史、宗教、政治、社会など視点を通して多角的学び、より日本理解を深めることを目指す。

#### 授業の到達目標

1. 日本の歴史的発展過程を学ぶ。
2. 日本の対外交流と文化について学ぶ。
3. 日本の政治体制の特徴について学ぶ。
4. 日本近代化と明治維新について学ぶ。
5. 日本の年間行事と生活文化について学ぶ。
6. 自ら日本について発信する力を身につける。

これらのテーマを学ぶことによって、日本文化を概観し、様々な分野の理解を深める。  
日本文化のについて発信する能力を身につける。

#### 授業の概要と計画

本講義は対面授業で実施する。シラバスは変更される可能性がある。最新情報は授業に出て確認すること。

- 第1週 イン트로ダクション・概観
- 第2週 日本の政治体制の変遷1
- 第3週 日本の政治体制の変遷2
- 第4週 日本の宗教と精神
- 第5週 日本の神話と神道
- 第6週 日本の詩歌の発展と俳句
- 第7週 「私の日本」プレゼンテーション①
- 第8週 「私の日本」プレゼンテーション②

#### 成績評価方法

1. 授業参加 (10%)
2. 各授業のまとめ (30%)
3. 最終グループ/個人発表(60%)

※出席率80%以上を満たすことが必要。

#### 成績評価基準

1. 各授業のテーマについて正確に理解したかを各授業の課題で評価する。
2. 各授業中の活動への主体的な活動したか、各授業の参加度で評価する。
3. 日本文化に興味あるテーマを選び、発信できたか最終発表で評価する。

#### 履修上の注意（関連科目情報）

- ・本授業は中上級以上レベルの日本語科目である。  
N3以上相当または、CIE-JTestで「中上級レベル」と判定された学習者を履修を可とする。
- ・交換留学生（特別聴講学生）履修可。
- ・神戸地域について学ぶ日本文化演習 IIBの受講するのが望ましい

#### 事前・事後学修

事前学修として、関連単語を調べ学習が必要である。  
事後学修として、各授業テーマのまとめの課題がある。

\*本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

#### オフィスアワー・連絡先

朴鍾祐 木曜日15:20-16:40（要事前連絡）

jwpark@kobe-u.ac.jp

六甲台第2キャンパス（文理農学部キャンパス）神戸大学百年記念館・グローバル教育センター（旧国際教育総合センター）3階  
朴研究室

※オンライン会議システムZoomでの面談も対応可。

#### 学生へのメッセージ

日本文化について関心を持っている学生、歴史や文化について興味を持っている学生はぜひ、受講してください。

#### 今年度の工夫

BEEFなどのLMSを活用し、学生の学習成果向上を図る。

#### 教科書

必要に応じて、BEEFに関連資料をアップするので、授業前の予習として読んでくること。

#### 参考書・参考資料等

日本文化論キーワード / 遠山淳他 : 有斐閣, 2009, ISBN:

#### 授業における使用言語

日本語  
日本語

#### キーワード

日本、文化、歴史、政治、中上級、発表